

## 【PDCA】

### I 森の恵みを活かしたまちづくり

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校と家庭の連携による良好な生活習慣の定着	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	森のようちえん支援事業	事業番号	1979		
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	①健康	事業番号	5	連番

R4 年度

Goal(目標)	自然環境を活かした保育の推進と、智頭町らしい特色ある子育て事業を支援する。				
Plan(事業概要・計画)	(1) 保育料の軽減・無償化制度の周知⇒通園児のいる家庭の経済的負担の軽減⇒保育環境の選択肢の増加 (2) 森のようちえんの運営に対しての補助⇒地域資源を活用した保育を実現⇒地域特有の魅力の創造				

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	9,215,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	保育料軽減補助金を活用した園児数	人	2	4	3	150%
②	保育料無償化制度を活用した園児数	人	13	14	14	108%
③	園児数に応じた運営に対する補助金交付	人	15	18	17	113%
実施内容		・森のようちえん通園家庭への説明及び資料送付の実施。 ・森のようちえん運営と連携し、保育料軽減・運営支援補助金の交付。				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・保育料無償化制度の認識が広がり、制度を利用して家庭の経済的負担が減った園児が増加。 ・全国一律の保育料無償化制度など智頭町外でも保育料軽減が受けられるようになり、町内在住の入園希望者及び入園を目的とした移住希望者も智頭町以外の選択肢が増えている。				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 団体への運営補助により活動を維持している。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	・保育料無償化制度を利用する園児に必要な保育認定の認定方法・基準をより明確に行う。 ・園の特性を活かした育成と就学に向けた準備について協議を重ねる。

# 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域おこし協力隊事業		所属	企画課	SDGs	8、10
事業(細目)名	地域支援推進事業			事業番号	2021	
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	2	連番	3

R4年度

Goal(目標)	智頭町での地域おこし協力隊を希望し、智頭町の発展を願う意識の高い地域おこし協力隊が柔軟に活用できる予算の確保と同時に、町民と行政の中間支援組織となるための事業を行う、さらに協力隊卒業後の起業に対し補助する。					
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域おこし協力隊に応じた予算の確保</li> <li>・協力隊卒業者への起業支援</li> </ul>					

R4年度

Do(実行)	R4実績額					13,467,939円	
活動実績を示す指標			単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	協力隊起業支援事業費補助金交付件数	件	1	1	1	100%	
②	地域おこし協力隊数(3月末時点)	人	7	5	5	71%	
③						#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊卒業者への起業支援が1件(林業事業体立ち上げに必要な経費に対し補助)</li> <li>・各地域おこし協力隊の活動に対する柔軟な予算編成の実施</li> <li>・協力隊向けの研修等を紹介した。</li> </ul>						

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業補助を行うことで、任期満了の協力隊が智頭町で起業し、定住に繋がった。</li> <li>・活動経費の弾力化など、個人のスキルに応じた予算編成を行った。</li> <li>・協力隊同士の仲間づくりの働きかけが出来ていない。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：委託形式が増え、行政が関わるのが少なくなっているが、協力隊同士の連携を深める取り組みが必要				

R4年度

Action(改善)						
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度も引き続き協力隊の起業支援を行い、定住に繋げる。</li> <li>・引き続き各協力隊の担当者に協力隊とのコミュニケーションを取るよう働きかける。</li> <li>・協力隊同士の繋がりを深めるきっかけの提供が必要。</li> </ul>						

## 第7次総合計画進行管理検証シート(※連番52、92を統合)

事業名	商店街との協働・連携による活性化	所属	企画課	SDGs	8
事業(細目)名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	3	連番

R4年度(4月記入)

<b>Goal(目標)</b>	かわらまち商店街、サービス商店会と協働し商店街の再生とにぎわいづくり及び魅力化を進める。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街のにぎわい創出。(新規出店者の増加) ・まちのコインの活用。</li> <li>・横の関係各機関との連携強化。</li> <li>・智頭農林高校との連携による商店街店舗の活用(ちのりんショップ)</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績					円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	商店街近辺における新規創業数	件	0	1	2	#DIV/0!
②	ちのりんショップの開催	回	8	8	8	100%
<b>実施内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる売り上げ減少への支援。</li> <li>・かわらまち商店街でのちのりんショップを数回開催。</li> </ul>						

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街主催で実施するイベントがコロナ以降中止になっており、にぎわい創出をどの様に行うかが課題。</li> <li>・令和3年度実施した「Be Local～ちづの日常」をモデルに、まちのコインとの連携も行いながら商店街と町民とが繋がる事が出来る機会を今後も創出していく必要がある。</li> </ul>						

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由:				

R4年度

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度も引き続き各種関係機関と連携し、コロナで被害を受けた店舗等への補助施策を行う。</li> <li>・来年度は、商店会の自主性を伴った継続的な事業を行う必要がある。</li> <li>・R3年度開催した「Be Local～ちづの日常」のようにイベントをフックにしたにぎわいの創出策を模索していく。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	林道維持管理事業	所属	地域整備課	SDG s	15
事業（細目）名	林道維持管理事業	事業番号	1158		
総合計画	基本理念	森の恵みを生かしたまちづくり			
	視点	②仕事	事業番号	4	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町有林道等の適切な維持管理
Plan(事業概要・計画)	・町管理林道等の適切な維持管理を行い、利用者の安全を図る。

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R4実績額	18,328,400円
活動実績を示す指標		単位
①	修繕費・手数料・工事請負費	千円
②		
③		
実施内容	・林道沖ノ山線舗装修繕 外 ・林道八頭中央線外支障木伐採業務 林道牛臥線堆積土砂撤去 外 ・林道本谷線道路修繕工事 林道沖ノ山線防護柵設置工事 外	

### R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・損傷箇所の修繕により、利用者の安全が確保された。 ・維持管理業務による水路等への堆積物撤去により路面水が解消され、舗装の損傷等が軽減された。 ・土砂流出により通行不可となっていた路線の撤去作業により、各種機関の重要施設へのアクセスが確保出来た。					

### R4年度（年度評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 林道の利便性向上と施設被害の未然防止に繋がっている				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
R4年度から実施の維持管理業務により、舗装の破損、法面崩落など林道施設への被害が抑えられていることから、本業務の対象路線を拡大し、本町の基幹産業である林業の更なる振興、観光施設へ繋がる林道の維持管理を継続して実施する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	県営林道事業	所属	地域整備課	SDG s	15
事業（細目）名	県営林道事業	事業番号	1417		
総合計画	基本理念	森林施業の基盤となる林道の整備			
	視点	②仕事	事業番号	4	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	基幹林道の整備による林業生産活動の活性化、森林の適正管理の推進に寄与する。
Plan(事業概要・計画)	・森林施業の基盤となる林道の整備（基幹林道因美線、籠山線、中ノ津線）を施行する県営事業に対する負担金及び用地購入

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R4実績額	23,771,775円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	全体進捗率	%	50	52	52	104%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	基幹林道因美線、籠山線、中ノ津線の開設工事の負担金 基幹林道因美線、籠山線、中ノ津線の用地購入					

R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	因美線の用地交渉が難航しており、事業が遅れている。					

R4年度（年度評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 県が実施主体であるため、各種調整が困難。進捗（遅れ）。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	・既に完了している箇所の維持管理。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	次世代を担う林業後継者の確保・育成、自伐林家の育成	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	林業事業体等支援事業	事業番号	2053		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	5	連番

R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	林業後継者、自伐型林業に取り組む人材の確保・育成を行い、林業就労者の増加を目指す。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働災害防止対策として防護ズボン等の購入を支援することで安全意識の向上を目指す。</li> <li>・雇用開始から5年目までの新参入者の社会保険料の事業主負担を支援し、事業体の新規雇用を促進する。</li> <li>・若手林業家の確保・育成のため、智頭町複業協同組合が雇用した林業マルチワーカーの育成活動を支援する。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>				4,234,847円
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 防護衣服購入支援者数	人	6	4	2	33%
② 社会保険料支援者数	人	3	5	4	133%
③ 林業マルチワーカー雇用者数	人	-	4	4	#VALUE!
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護ズボン等購入支援</li> <li>・林業事業体における現場作業員の社会保険料（健康保険、厚生年金）の事業主負担の支援</li> <li>・林業マルチワーカーの人材派遣経費、住居・通勤手当、物品購入費、資格取得経費に対する支援</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>						
林業マルチワーカーについては、就労希望が多い中で、専門的な知見をもった智頭町複業協同組合が適切な人材を採用しており、期待した効果が得られている。						

R4年度（年度末評価を記入）

<b>評価</b>	A	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
<b>評価</b>	A	<b>評価理由</b> ：高い効果が得られており、今後も期待が出来る。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
事業開始から1年が経ち、林業マルチワーカーの課題点や更なる人材育成に向けて事業を進めていく必要がある。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	次世代を担う林業後継者の確保・育成、自伐林家の育成	所属	山村再生課	SDG s	15	
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	5	連番	6

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	林業後継者、自伐型林業に取り組む人材の確保・育成を行い、林業就労者の増加を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自伐型林家等を育成する。</li> <li>・智頭林業を支えてきた架線集材技術を継承する。</li> <li>・林業従事者としての定着を促進する。</li> </ul>

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績総額				1,767,455円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	自伐型林業研修会参加者数	人	76	100	136	179%
②	架線集材技術継承支援事業申請者	人	2	3	2	100%
③	新規就労支援者数	人	1	1	0	0%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自伐型林業研修会開催支援</li> <li>・架線集材技術継承支援</li> <li>・新規就労支援</li> </ul>				

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

### R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 多くの林業従事者に支援ができた。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>防護ズボン等購入支援において智頭町内の林業労働者の多くに対して支援ができた。1人あたりの補助限度額があることもあり、令和4年度を最終年度とし、新規労働者に対する支援とする方向で検討する。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地元原木市場への原木安定供給の支援	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	6	連番	7

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	智頭材（間伐材）の搬出を促進し、地元原木市場への原木の安定供給確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石谷林業原木市場への出荷材への支援を行う。</li> <li>・石谷林業原木市場で材を購入した場合の材に対する支援を行う。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				31,741,951円
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 出荷材支援	m <sup>3</sup>	23,475	35,500	23,463	100%
② 受渡支援	m <sup>3</sup>	5,366	6,300	5,142	96%
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石谷林業への出荷支援として、1,200円/m3を補助</li> <li>・製材所への受渡支援として、700円/m3を補助</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
地元原木市場への原木供給を継続することができ、あわせて製材業者の支援を実施した。 予算執行に努めるよう事業体への指導が必要。						

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	B	評価理由：木材価格が変動する中、安定した供給、利用に繋がった。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」の実現に向けて現地研修の参加を義務づけているが、より理解に繋がる研修開催が必要。参加者アンケートを元に研修内容を検討する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	木材利用の推進（新需要喚起、バイオマス利用等）	所属	山村再生課	SDG s	7
事業（細目）名	木の宿場プロジェクト推進事業	事業番号	1933		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	7	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	林地残材等、森林由来の木質バイオマス資源を熱利用し、資源の循環利用を推進する。
Plan(事業概要・計画)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プール（薪ボイラー）の運営</li> </ul>	

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				839,646円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	出荷材積	t	173	300	169.14	98%
②	保守点検	回	2	2	1	50%
③						#DIV/0!
実施内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プール（薪ボイラー）の運営</li> <li>・木の宿場プロジェクト事業における出荷材支援</li> </ul>						

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の宿場プロジェクト事業における出荷材積については、目標に対して約半数の実績</li> <li>・ボイラーの管理（薪割、運搬、投入）を引き受ける団体が不在</li> <li>・プール改修によるボイラーの稼働停止による点検回数削減</li> </ul>						

### R4年度（年度評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：ボイラーの稼働停止、管理者の不在により、活動が制限されている。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーの持続可能な運営体制を構築する。（7月末までに）</li> <li>・木の宿場プロジェクト事業における出荷材積を促進するため、新規出荷者の確保に取り組む。（林業塾等で周知）</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	木材利用の推進（新需要喚起、バイオマス利用等）	所属	山村再生課	SDG s	7	
事業（細目）名	林業事業者等支援事業	事業番号	2053			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	7	連番	8

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	林地残材等、森林由来の木質バイオマス資源を熱利用し、資源の循環利用を推進する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブ導入支援</li> <li>・町内の林業・木材産業の伝統を守り、智頭材の利用促進普及活動を推進するため、智頭町木材協会の活動を支援</li> <li>・智頭材の販売促進を図るため、智頭材の持つ有用性等を科学的に明らかにする活動を支援</li> </ul>

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額					1,311,040円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	薪ストーブ設置台数	台	2	5	3	150%
②	木材利用促進活動実施者	者	1	2	2	200%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブの設置を支援。</li> <li>・智頭町木材協会及び智頭材利用促進活動実施者の活動を支援。</li> </ul>					

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブを設置し、木質バイオマス利用を推進した。</li> <li>・智頭町木材協会、クレコ・ラボの活動を支援。</li> </ul>					

### R4年度（年度評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	B	評価理由：計画どおりの支援ができた。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の宿場実行委員会等の取組に併せて、潜在的に存在している薪ストーブ設置希望者へ向けて補助制度の周知に努める。</li> <li>・智頭町の需要拡大に向け、智頭町木材協会・クレコ・ラボ等を支援しながら町も関わり事業を進めていく。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	木材利用の推進（新需要喚起、バイオマス利用等）	所属	山村再生課	SDG s	7
事業（細目）名	森林・林業情報発信事業	事業番号	2054		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	7	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	都心での智頭材需要喚起、智頭農林業の振興
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭材を使用した魅力的な商品開発</li> <li>・東京都港区での木材需要喚起を図る</li> </ul>

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)	R4実績額				459,000円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	港区での町産木材PR	回	0	2	0	#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭林業の明日を考える若手の会、moretrees等と連携し智頭杉枕の商品化を行う。</li> <li>・東京都港区で開催されるイベントに参加し、町産木材のPR活動を行う。</li> </ul>					

### R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	若手の会、日本ベッドと連携し、智頭材を使用した枕を試作し、販売に向けて検討を重ねた。また、日本ベッドの商談会にて、枕の試作品を展示し、一方で、販売に向けて、価格設定など行政が立ち入るべきではない部分があるため、事業進捗の把握、調整が困難である。					

### R4年度（年度評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	C	評価理由：智頭杉を使用した枕の販売価格の設定で事業が止まっている。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の意見を聞きながら、港区イベントに参加し智頭材のPRを行う。</li> <li>・まくらの販売に向けて引き続き日本ベッド、若手の会と連携し、事業を進める。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	遊休農地の解消に向けた活動への支援	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	中山間地域等直接支払交付金事業	事業番号	1859		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	8	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	生産条件の不利性を補正し、農業生産の維持と多面的機能の確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	中山間地域のための農業生産条件が不利な地域において、農業生産活動を継続するための支援。 ・事業計画の新規認定（2協定）

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額					56,314,000円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	集落協定数（集落・個別）	協定	36	38	38	106%
②	対象面積	㎡	3,083,903	3,152,596	3,152,596	102%
						#DIV/0!
実施内容						
<p>昨年度に引き続き農地の保全活動を行っていただいた。また、令和4年度から新規協定が2集落追加となった。</p> <p>一方で担い手や後継者不足により、対象農地が減少傾向にあるため、座談会等を通じて、対象農地面積の維持又は増加の支援を行う必要がある。また、若い世代の活動参加や、新たな担い手の掘り起こし等、他事業との連携も深める。</p>						

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<p>昨年度に引き続き農地の保全活動を行っていただいた。また、令和4年度から新規協定が2集落追加となった。</p> <p>一方で担い手や後継者不足により、対象農地が減少傾向にあるため、座談会等を通じて、対象農地面積の維持又は増加の支援を行う必要がある。また、若い世代の活動参加や、新たな担い手の掘り起こし等、他事業との連携も深める。</p>						

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 高齢化等による離農等の対策が喫緊の課題。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
取組が継続できるよう制度の再周知も含め、各協定に助言、指導を行う。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	遊休農地の解消に向けた活動への支援	所属	山村再生課	SDG s	15	
事業（細目）名	多面的機能支払交付金事業	事業番号	2006			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	8	連番	9

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	集落の農地、農業用施設や農村環境を地域ぐるみでの共同活動等により良好な保全と資的向上を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の再認定（7組織）、事業計画の新規認定（1組織）</li> <li>・現地巡回による実施状況（草刈等の保全活動）確認（サングリーン智頭へ委託）</li> </ul>

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額					14,183,000円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	活動組織数	組織	26	27	25	96%
②	対象面積	a	24,240	24,732	23,591	97%
						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の再認定（6組織）・事業更新見合わせ（1組織）・広域組織への加入（1組織）・新規加入組織（1組織）</li> <li>・現地巡回による実施状況（草刈等の保全活動）確認（サングリーン智頭へ委託）</li> </ul>				

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<p>昨年度に引き続き農地の保全活動を行っていただいた。また、令和4年度から新規組織が1組織追加となった。</p> <p>一方で担い手や後継者不足により、対象農地が減少傾向にあるため、座談会等を通じて、対象農地面積の維持又は増加の支援を行う必要がある。また、若い世代の活動参加や、新たな担い手の掘り起こし等、他事業との連携も深める。</p>						

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 高齢化等による離農等の対策が喫緊の課題。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>取組が継続できるよう広報等による制度の再周知も含め、各協定に助言、指導を行う。</p>	

### 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	遊休農地の解消に向けた活動への支援		所属	山村再生課	SDG s	15
事業(細目)名	農地中間管理事業		事業番号	2007		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	8	連番	9

R4年度(4月記入)

Goal(目標)	担い手等への農地利用集積・集約化を図り、遊休農地の解消を目指す。
Plan(事業概要・計画)	農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める中心的担い手(認定農業者や集落営農組織)への農地利用の集積・集約化を図る。

R4年度(11月末に実績見込を記入)

Do(実行)		R4実績見込額			200,000円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	事業活用件数	件	9	9	3	33%
						#DIV/0!
						#DIV/0!
実施内容		令和4年11月末時点において、中間管理機構を通じた利用権設定件数1件、設定面積1,252㎡と、集積・集約化した。 また、中間管理機構を通じた農地売買が1件あり、担い手への移管を推進した。				

R4年度(11月末に記入)

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		令和4年11月末時点において、中間管理機構を通じた利用権設定件数1件、設定面積1,252㎡を集積・集約化。 一方で中間管理機構を通じた利用権設定の場合、基盤法の設定では提出を求めない書類が多く、事務処理が煩雑になりがちであるため、今後事務の簡略化を検討する必要がある。				

R4年度(11月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 人・農地プランを意識した支援が必要				

R4年度(11月末に記入)

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
相続されていない農地の利用権設定にあたっては、1/2を超える相続関係者(権原者)の同意が必要となり、その取得が困難なために利用権設定を諦める農業者も多かった。 令和5年度は、これまで以上に出来る範囲でサポートし、農地の集積・集約化を促す。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	自伐林家の郷	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	9	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	山林バンクの登録を行い、登録森林の活用により智頭林業を支える担い手の育成・確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドとなる山林を「山林バンク」として登録</li> <li>・登録山林を技術研修や生業の場として活用</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額			0円	
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 登録森林	ha	0.30	10.00	0.30	100%
② 活用森林	ha	1.44	2.00	0.00	0%
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山林を「山林バンク」として登録。</li> <li>・登録森林の活用が課題であるため、情報提供の仕組みを変更し対応する。</li> </ul>				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>現在、山林情報バンク委託業務を平成28年度から株式会社サングリーン智頭に委託をしてきたところ。年数が経過する中、登録森林の面積も減少していることから、他者への業務委託を考える。また、登録森林の活用も継続的な課題であるため、対象森林活用を促進する事業創設を行う。</p>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 放置森林化防止に向けた対応検討が必要				
評価	C					

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>登録山林を増やすことを目的に「山林情報バンク業務委託」の委託先の変更を行う。 登録森林の活用を促進するため、当該対象地での森林整備に対する補助事業を創設する。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	自伐林家の郷	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	10	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	林家として必要な技術等を幅広く学べる研修会開催を支援し、新たな担い手の確保と育成を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に満ちた生活実践と林業を生業とすることを志す者に対し、その基礎となる知識・技術等を伝授する教育塾を行う。</li> <li>・自伐型林業に取り組む若手に対して、技術研修を実施し、生業として自伐型林業に取り組む担い手を育成する。</li> <li>・林業従事者としての定着を促進する。</li> </ul>

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				3,917,455円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	智頭の山人塾参加者数	人	710	800	504	71%
②	自伐型林業研修会参加者数	人	76	100	136	179%
③	新規就労支援者数	人	1	1	0	0%
実施内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭の山人塾開催支援</li> <li>・自伐型林業研修会開催支援</li> </ul>						

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
オンラインと現地開催の両方の利点を活かして事業を実施している。参加者も全国に広がったこともあり、森林・林業教育への取組を広くPRすることができ、町外受講生に智頭林業への興味関心を高めた。						

### R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： オンライン、現地開催それぞれの利点を活かすことができている。				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭の山人塾、自伐型林業研修会で連携し、内容、対象者、開催時期等を調整し、より効率的な研修会を開催する。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	多様な消費者ニーズに応える農産物づくりの推進（自然栽培）	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	ホンモノの農産物づくり推進事業	事業番号	1953		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	11	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	自然栽培への理解を深め、実践及び普及するための研修会等の開催、並びに新たな自然栽培の担い手の確保、耕作放棄地の解消を図り、農業の振興と地域の活性化を図る。
Plan(事業概要・計画)	
①自然栽培の担い手育成事業（新規2名）	
②特定非営利活動法人自然栽培そらみずちの支援	

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				2,265,000円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	自然栽培新規就農者支援	人	2	4	4	200%
②	自然栽培普及促進支援	団体	1	1	1	100%
						#DIV/0!
実施内容						
自然栽培新規就農者への支援						
自然栽培の普及・実践を行うための特定非営利活動法人自然栽培そらみずちへの支援						

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
本町の特色ある取り組みであり、多様なニーズに応えていくための体制づくりが必要。						
担い手の育成等、実施方法や成果をよく検証しながら進めていく必要がある。						

### R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 担い手の育成等、実施方法や成果をよく検証しながら進めていく必要がある				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
そらみずちを中心に自然栽培を広めていき、自然栽培野菜の付加価値を高めていくことが必要。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭宿特産村の活性化	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	観光事業	事業番号	1167		
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	15	連番

R4年度

Goal(目標)	智頭宿の駐車場内にある特産村に賑わいを創出し、智頭町の魅力向上に努める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客への案内、おもてなし。</li> <li>・集客をはかるための魅力発信。</li> <li>・各種特産品の販売。</li> </ul>

R4年度

Do(実行)	R4実績					円
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
① 特産村貸出店舗数	件	5	5	5	100%	
② 特産村出店者との集客作戦協議	回	0	1	0	#DIV/0!	
③ 石谷家入館者数	人	10,135	10,000	13,636	135%	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信事業での効果的な情報発信により、県内外を問わず観光PRを実施。</li> <li>・近隣県へ智頭宿及び石谷家住宅等のPR。(スタンプラリーへの掲載やツアー造成など)</li> </ul>					

R4年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産村に空き店舗を生じさせないことにより、施設の活性化及び観光客へのおもてなしを行った。</li> <li>・アフターコロナに向けて、観光協会と連携し智頭宿一体への集客手法を考える必要がある。</li> </ul>					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	---	----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B	評価理由：
----	---	-------

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信事業とも連携しながら、特産村内のみならずエリア一体の連携強化を図る必要がある。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地産地消の推進	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	ホンモノの農産物づくり推進事業	事業番号	1953		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	16	連番

### R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町内で生産される農産物の魅力を町内外に情報発信し、消費拡大の仕組みづくりと生産者の営農意欲の増進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルバーブ等地域で生産振興に取り組む農産物を学校給食で活用するよう働きかける</li> <li>・物産会等を通して町内で生産される農産物の魅力を町内外に発信する</li> </ul>

### R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額					なし
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	ルバーブジャムを町内外の学校給食で提供する	回	2	2	2	100%
②	農産物物産会の実施	回	1	1	2	200%
						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食でのルバーブジャムの提供</li> <li>・農産物物産会（智頭の農市、鳥取県物産展）の開催・出店</li> </ul>				

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物のPRに関する活動として、「智頭の農市」を開催及び「鳥取県物産展」に出店した。</li> <li>・引き続き販路拡大に有効な事業実施方法の検討を行う。</li> </ul>				

### R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： コロナ状況下ではあったが、販路拡大に有効なイベント実施はできた				
評価	B					

### R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
今後も、智頭の農産物の魅力PR・情報発信のための方法及び販路拡大のための有効な方法を協議していく。	

### 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	本物の農産物供給体制	所属	山村再生課	SDG s	2
事業(細目)名	ホンモノの農産物づくり推進事業	事業番号	1953		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	17	連番

R4年度(4月記入)

Goal(目標)	家庭菜園野菜の集出荷体制を整え販路の拡大を図る。
Plan(事業概要・計画)	
①家庭菜園野菜の特産品化に向けた集出荷支援と付加価値販売(智頭野菜新鮮組)に係る活動を支援 ②自然栽培の担い手育成事業(新規2名) ③特定非営利活動法人自然栽培そらみずちの支援	

R4年度(年度末実績を記入)

Do(実行)	R4実績額					2,865,000円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	出荷売上	円	604,558	641,000	641,000	106%
②	自然栽培新規就農者育成支援事業補助金	名	2	4	4	200%
③	自然栽培普及促進事業補助金	名	1	1	1	100%
実施内容						
野菜の集荷、梱包、発送作業、各種取引先、ふるさと納税等へ野菜を発送する活動を支援 自然栽培新規就農者の支援 自然栽培の普及・実践を行うための特定非営利活動法人自然栽培そらみずちの支援						

R4年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
新型コロナウイルスの影響で野菜発送の注文が多くなっており、出荷売上に増加が見込める。						

R4年度(年度末評価を記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 本町の推進事業のひとつであるホンモノの農産物の生産に関する活動を支援できた				

R4年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
引き続き、野菜の品質向上とPRを行い、出荷売上の増加を目指す。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	低コスト林業の推進	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	森づくり作業道整備事業	事業番号	1654		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	18	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	健全な森づくりへの積極的な取組を促進し、労働負荷や素材の搬出コスト低減を図る
Plan(事業概要・計画)	作業道の開設を支援

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				17,822,462円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	作業道開設延長	m	9,744	13,850	8,789	90%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	作業道の開設を支援					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	例年、計画どおりの実績をあげている。 壊れにくい作業道の作設を推進する必要があり、路網線形の指導等が不可欠。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：計画どおりの実績をあげている。				
評価	B					

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
路網線形の指導等が不可欠であるため、研修等開催の際には、作業道にかかる研修開催を優先事項として検討。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	低コスト林業の推進	所属	山村再生課	SDGs	15
事業（細目）名	美しい森林づくり基盤整備事業	事業番号	1906		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	18	連番

### R4年度（4月記入）

<b>Goal(目標)</b>	森林の持つ公益的機能の高度発揮及び、維持増進を目的とした森林整備を推進
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	森林の持つ公益的機能の高度発揮及び、維持増進を目的とした森林整備(間伐・作業道開設)に必要な経費の支援を行う。

### R4年度（年度末実績を記入）

<b>Do(実行)</b>		<b>R4実績額</b>		30,019,646円		
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	間伐面積	ha	52.57	100	48.2	92%
②	作業道延長	m	1,836	4,000	3,962	216%
③						#DIV/0!
<b>実施内容</b>	森林の持つ公益的機能の高度発揮及び、維持増進を目的とした森林整備(間伐・作業道開設)に必要な経費の支援を行う。					

### R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	森林経営計画樹立が困難な小規模事業者でも事業実施が可能な点が、非常に有効な事業である。そのため、小規模面積での間伐、作業道開設の支援が可能となっている。					

### R4年度（年度末評価を記入）

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	<b>現状維持</b>	抑制	<b>廃止</b>
担当課長評価						
<b>評価</b>	B	<b>評価理由：集約化が困難な森林に対応ができる有効な事業</b>				

### R4年度（年度末改善方針を記入）

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	国交付金事業であり、県高上げもある補助事業となっており、町負担が比較的少ない事業。そのため、なるべく多くの林業事業者が本事業を活用するよう誘導していく必要がある。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	低コスト林業の推進	所属	山村再生課	SDG s	15
事業（細目）名	林業事業者等支援事業	事業番号	2053		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	18	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	健全な森づくりへの積極的な取組を促進し、労働負荷や素材の搬出コスト低減を図る。
Plan(事業概要・計画)	林業機械の整備、リースを支援 （「智頭林業」機械化促進事業）

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額			1,020,000円		
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	林業機械整備支援	台	1	1	2	200%
②	林業機械リース支援	台	2	1	1	50%
③						#DIV/0!
実施内容	鳥取県林業再生事業における県単機械整備、以外支援を受けている事業者に対してその経費を支援。					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	例年計画どおりの実績をあげている。 県では皆伐を実施する事業者の補助率を上げ、それ以外は下げている仕組みとなっているため、そういった県の施策状況も勘案しながら事業内容の変更も検討する必要がある。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 計画どおりの執行となっている。				
評価	B					

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
低コスト林業の推進には機械化が不可欠。 引き続き機械導入等支援を行うことにより、現場作業の軽減化、安全化を図り労働環境を改善し担い手の確保に繋げる。	

### 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	低コスト林業の推進	所属	山村再生課	SDG s	15
事業(細目)名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	18	連番

R4年度(4月記入)

Goal(目標)	健全な森づくりへの積極的な取組を促進し、労働負荷や素材の搬出コスト低減を図る
Plan(事業概要・計画)	作業道の開設を支援(持続可能な山づくり支援事業)

R4年度(年度末に記入)

Do(実行)	R4実績見込額					0円
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	作業道開設延長	m	0	600	0	#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅員1.5~2.0mの作業道開設に係る経費支援</li> <li>間伐率15%~19%の低間伐率で行う間伐にかかる経費支援</li> </ul>					

R4年度(年度末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	自伐型林業家からの要望を受けて、本補助事業を制定したが、実態として需要がなかった。					

R4年度(年度末に記入)

評価	D	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	D	評価理由: 需要がなかったため。				

R4年度(年度末に記入)

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	・事業要望がなかったため、令和5年度は実施しない

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	木の宿場プロジェクトの運営支援	所属	山村再生課	SDG s	15
事業(細目)名	木の宿場プロジェクト推進事業	事業番号	1933		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	19	連番

R4年度(4月記入)

<b>Goal(目標)</b>	林地残材等、森林由来の木質バイオマス資源を熱利用し、資源の循環利用を推進する。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の宿場への出荷支援</li> <li>・間伐支援</li> <li>・木の宿場林業塾開催支援</li> </ul>

R4年度(年度末実績を記入)

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績額</b>					3,398,364円
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
① 出荷材積	t	173	300	169.14	98%	
② 間伐面積	a	56	400	8.57	15%	
③					#DIV/0!	
<b>実施内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の宿場への出荷支援</li> <li>・間伐支援</li> <li>・木の宿場林業塾開催支援</li> </ul>					

R4年度(年度末実績時のチェックを記入)

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の宿場プロジェクト事業における出荷材積については、目標に対して約半数の実績</li> <li>・間伐支援については作業道分が大半を占め、間伐(切捨、搬出)の実績が少ない</li> <li>・林業塾を1回開催し、20名が参加し、木の宿場実行委員会新規加入3名</li> </ul>					

R4年度(年度評価を記入)

<b>評価</b>	B	<b>方針</b>	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由: 薪ボイラーを稼働させるためには、出荷材積を増やさなければいけない。				
<b>評価</b>	C					

R4年度(年度末改善方針を記入)

<b>Action(改善)</b>	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標出荷材積を達成するために、林業塾の開催時に木の宿場実行委員会のPRをすることで新規出荷者の獲得に繋げる。</li> <li>・杉小判の配布(通常杉小判、ありがとう杉小判)に併せて、木の宿場実行委員会のPRを行う。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域の特性を活かした農業生産（農産物加工）の支援	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	地域農業振興プラン支援事業	事業番号	1800		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	20	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	農家に対する農業用機械及び施設導入の支援、遊休農地の再生利用支援
Plan(事業概要・計画)	
小規模農家の継続及び遊休農地の再生利用を支援する。また、自らの創意工夫による取組を行っている農業者に対し、機械整備や生産等の支援を行うことで、元気な農業者を育成するとともに、地域農業の活性化を図る。	

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				10,655,176円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	次世代につなげる農業経営基盤整備事業（機械、施設導入の支援）	件	7	5	10	143%
②	次世代につなげる農業経営基盤整備事業（遊休農地の再生利用支援）	件	1	1	1	100%
③	がんばる農家プラン事業	件	0	1	1	#DIV/0!
実施内容 機械、施設導入の支援 遊休農地の再生利用支援 がんばる農家プラン事業						

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題 本町において、農業の担い手確保が重要な課題となっており、就農環境の整備を継続して進めていく。						

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 農業の担い手確保、就農環境の整備ができた。継続して取り組む必要がある。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
担い手の確保に苦慮している実情を踏まえ、今後は集落や地域の枠を超えた農地の集積化、集約化を目指し、農地の適正管理を推進する。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域の特性を活かした農業生産（農産物加工）の支援	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	ホンモノの農産物づくり推進事業	事業番号	1953		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	20	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	農業への関わり方や理念、規模に則した支援を行い、地域農業の魅力を高め、付加価値の高い農産物づくりを進める
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭菜園野菜の特産品化に向けた集出荷支援と付加価値販売（智頭野菜新鮮組）に係る活動を支援する。</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				600,000円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	智頭野菜新鮮組出荷売上	円	604,558	641,000	641,000	106%
						#DIV/0!
						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の集荷、梱包、発送作業、各種取引先、ふるさと納税等へ野菜を発送する活動を支援する。</li> <li>・野菜づくり講習会を開催し、品質のよい野菜の生産を行う。</li> </ul>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で野菜発送の注文が多くなっており、出荷売上に増加が見込める。</li> </ul>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： コロナの影響で需要が増加している傾向もあるホンモノの農産物づくりを支援できた				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
新型コロナウイルスの影響で野菜発送の注文が多くなっており、出荷売上に増加が見込める。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	有害鳥獣対策(侵入を防ぐ対策、個体数を減らす対策)への支援	所属	山村再生課	SDG s		
事業(細目)名	鳥獣等被害防止事業	事業番号	1776			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	21	連番	20

### R4年度(4月記入)

<b>Goal(目標)</b>	町産ジビエ等の本町ならではの資源を有効活用し、これらを地域内で循環利用する社会を構築する。
<b>Plan(事業概要・計画)</b>	
① 侵入を防ぐ対策：ニホンジカ、イノシシの侵入防止柵の導入支援、鳥獣に強い集落作りの支援（捕獲講習会の開催、買購入支援等） ② 個体数を減らす対策：ニホンジカ、イノシシ、カラス、カワウ等の有害鳥獣捕獲、銃所持者の射撃技術向上、アナグマ、タヌキ、ハクビシン等の中型獣による農業被害の防止 ③ 町産ジビエの振興	

### R4年度(11月末に実績見込を記入)

<b>Do(実行)</b>	<b>R4実績見込額</b>				<b>14,706,000円</b>	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	侵入防止柵 整備延長	m	2,568	1,170	6,556	255%
②	ニホンジカ・イノシシ捕獲頭数	頭	516	394	889	172%
#DIV/0!						
<b>実施内容</b>						
・侵入を防ぐ対策：侵入防止柵の整備支援 ・個体数を減らす対策：イノシシ、ニホンジカ、カラス捕獲の委託 猟友会射撃練習の開催 ・町産ジビエの振興：ちづDeer'sを会場にして、狩猟・食肉解体研修を実施						

### R4年度(11月末に記入)

<b>Check(確認)</b>						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
<b>成果・課題</b>						

### R4年度(11月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 捕獲従事者の高齢化や会員不足の解消を図り、引き続き有害鳥獣の駆除を実施する必要がある。				

### R4年度(11月末に記入)

<b>Action(改善)</b>	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
智頭町猟友会の強化と町産ジビエPRに力を入れ、狩猟、解体講習会等の取組が必要。 ジビエ肉と狩猟に興味を持ってもらう人を増やしていく。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域資源を循環、有効活用する	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	林業事業者等支援事業	事業番号	2053			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	24	連番	23

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	木材など、本町ならではの資源を有効活用し、これらを地域内で循環利用する社会を構築する。
Plan(事業概要・計画)	・薪ストーブ導入支援

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				511,040円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	薪ストーブ設置台数	台	2	5	3	150%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		薪ストーブ導入支援				

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・薪ストーブ3台の設置、2件の相談があり、木質バイオマス利用を推進に繋がっている。				

R4年度（年度評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：補助件数上限には達していないが、関心のある住民はいる。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	・木の宿場実行委員会等の関係する他の取組に併せて、潜在的に存在している薪ストーブ設置希望者へ向けて補助制度の周知に努める。

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地元原木市場への原木安定供給の支援	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	24	連番	23

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	智頭材（間伐材）の搬出を促進し、町内の製材品を利用することで、材の循環利用を推進する。
Plan(事業概要・計画)	建築業者が智頭町内で製材加工された杉・桧の製材品の購入する際に支援を行う。

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				1,170,370円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	製品利用支援	m <sup>3</sup>	87.989	200	131	149%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	建築業者への製品利用支援として10,000円/m3を補助					

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	これまで素材生産者、製材業者のみの支援だったが、製品利用についても支援を行うことで、智頭材の出荷→製材→製品と繋がる仕組みを構築できた。					

R4年度（11月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：昨年の1.5倍利用の見込であること				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
令和4年度は事業実施主体が3者であったが、今後事業実施主体が増えるよう更なる制度周知が必要。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭町まるごと民泊の積極的推進	所属	山村再生課	SDG s	8
事業(細目)名	智頭町まるごと民泊事業	事業番号	1972		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	25	連番

### R4年度(4月記入)

Goal(目標)	民泊を通じ多くの方に本町を訪れてもらい、地域の活性化につなげ第2のふるさととなるよう推進する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊を通じ多くの方に本町を訪れてもらい、地域の活性化に繋がるとともに、都市住民の第2のふるさととなるよう事業を推進。</li> <li>・ワンランク上のおもてなし提供、各家庭のおもてなし力を智頭町のおもてなしレベルに引き上げる。</li> <li>・民泊家庭同士の交流を活発に行う。</li> </ul>

### R4年度(年度末実績を記入)

Do(実行)	R4実績額	2,165,000円				
活動実績を示す指標	単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	新規民泊受入家庭の増	軒	4	5	1	25%
②	民泊レベルアップのための研修会	回	3	5	1	33%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭町民泊のPRとイベント運営による協議会活動活性化のため、「智頭町民泊フォトロゲイニング」を実施した。</li> <li>・民泊レベルアップ研修として、希望者を募り県外視察を行った。その他研修(新型コロナウイルス感染対策認証店取得研修・家庭交流会等)については新型コロナウイルスの影響により中止となった。</li> </ul>					

### R4年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規協議会加入1軒、退会2軒、簡易宿所営業登録1軒。受入家庭の高齢化が進む中、新規家庭の獲得が必要不可欠。</li> <li>・民泊利用者が回復しつつある。(R3:18名、R4:186名)</li> <li>・フォトロゲイニング参加者22名</li> </ul>					

### R4年度(年度評価を記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	C	評価理由:新規家庭の加入、利用者の増に向けて検討が必要。				

### R4年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭町の町並みや原風景をはじめ、智頭町民泊をより多くの方にPRし、イベント運営を通して協議会の活性化を図るため、「智頭町民泊フォトロゲイニング」を開催する。また、参加者を増やすために内容(日時、PR方法等)のブラッシュアップを行う。</li> <li>・引き続き各種研修を行い、民泊のレベルアップを目指す。</li> </ul>

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	森林セラピー商品の開発	所属	山村再生課	SDG s	8,12
事業（細目）名	森林セラピー事業	事業番号	1896		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	26	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	地域の活力創造と疎開の町として癒しの里づくりを進めるため、新たな商品・プログラムの構築を推進。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業研修プログラムの販売及び企業のニーズに合わせたプログラムの販売。</li> <li>・他の癒し産業とのコラボレーションプログラムの販売。</li> <li>・田舎暮らし体験の活用。      ・智頭町森林セラピーアプリの活用。</li> </ul>

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額				2,292,734円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	森林セラピーセミナーの開催	回	1	1	1	100%
②	うつ病患者を対象としたデータ収集	回	0	1	1	#DIV/0!
③	企業研修の実施	回	0	5	5	#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフソフト65連携事業で「森林セラピー×ワーケーションツアー」等を企画し、PRのためのオンラインセミナーを開催した。</li> <li>・智頭町森林セラピーアプリ、SNS等を活用して情報発信を行った。</li> </ul>				

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<p>新型コロナウイルス感染拡大により、屋外アクティビティや癒し産業、ワーケーション等の関心は高まっている。</p> <p>10月に2社と連携協定を締結し、県外のPRイベントに参加。withコロナで自粛していた県外営業が再開できた。</p> <p>今後協定企業の取引先等へ発展できるよう情報発信していくことが課題。</p>						

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 県外営業を再開し、必要があることを再確認できた。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>withコロナで団体の受入れや企業研修の受入れができる情勢になっている。県外者への営業活動等も再開し、アフターコロナに向けて新しい生活様式に合わせた旅行プラン（ワーケーション・オンライン等）のアプローチを開始する。</p> <p>森林セラピーイメージキャラクター「もりりん」を活用し、観光資源化（商用利用）に向けた取り組みを行う。</p>	

# 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域経済循環創造事業	所属	企画課	SDGs	8
事業（細目）名	まちづくり支援事業	事業番号	2030		
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	30	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	地域資源を生かし、持続可能な事業の立ち上げや地域課題の解決を図るため、民間事業者等の初期投資費用を地域金融機関と町が支援することにより、地域の活性化が図られる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域経済循環創造事業補助金の募集</li> </ul>

R4年度

Do(実行)		R4実績額				0千円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	地域経済循環創造事業補助金の募集広報	回	1	1	1	100%
②	随時紹介と相談を受ける	回	1	1	0	0%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月広報折り込みのチラシに補助金の内容を載せ、広報。</li> <li>・ 随時、新規取り組みたい事業がある場合の相談時に紹介。</li> <li>・ 相談がなかった</li> </ul>				

R4年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規事業に取り組みたい場合、相談時にこの事業を紹介している。</li> <li>・ 地域金融機関の融資がなければ進まない事業であるが、町と金融機関がフォローできるので、起業をしたい場合に挑戦できる環境を作っていきたい。</li> </ul>				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 公民連携事業であり、周知を図り活用を促す必要がある				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規創業や開業時の初期投資に使っていただけるよう、相談体制を維持する。</li> <li>・ 地域金融機関との連携を図る。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地籍調査事業	所属	地籍調査課	SDG s	15
事業（細目）名	地籍調査事業	事業番号	1392		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	8	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	計画どおり事業実施すること。
Plan(事業概要・計画)	<p>法務局にある土地登記簿、公図に基づき智頭町内の土地の形状、境界、所有者の土地の関係を一筆毎に調査し地籍簿、地籍図を作成する事業である。</p> <p>智頭町の総面積224.70km<sup>2</sup>のうち地籍調査を実施する面積は、国有林、ほ場整備区域を除外した191.53km<sup>2</sup>であり、平成5年度に富沢地区から着手し、現在那岐地区・山形地区・山郷地区・土師地区を調査している。</p> <p>本年度実施地区は、継続地区(11計画区)、新規地区(4計画区)の15計画区(当該年度数値情報化4計画区を含む)21.64km<sup>2</sup>であり、うち大字大屋の一部(山)1実施区面積1.56km<sup>2</sup>、大字大呂の一部(山)1実施区面積1.07km<sup>2</sup>、大字中原の一部(山)1実施区面積1.32 km<sup>2</sup>を一筆調査する。</p> <p>新たに調査地区としては、大字慶所の一部(平地・山)2調査区面積0.66km<sup>2</sup>、大呂の一部(山)1調査区面積1.08km<sup>2</sup>、中原の一部(山)1調査区面積7.05km<sup>2</sup>を着手する。</p> <p>また、直営では、大字大屋の一部(山)1調査区1.56km<sup>2</sup>の一筆調査と新規に大字慶所の一部(平地・山)2調査区面積0.66km<sup>2</sup>を着手する。</p>

R4年度（年度末評価を記入）

Do(実行)	R4実績額	126,913,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	地籍調査事業費	千円	97,468	132,260	126,913	130%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		事業計画により実施をすることが必要であり、また、土地所有者も高齢化進んでおり早期に事業を完了できるように、作業効率向上を図るため平成29年度から調査の一部を直営で実施している。				

R4年度（年度末評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		令和4年度事業は、遅延等がなく計画どおり実施している。				

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 計画どおり事業実施している。				

R4年度（年度末評価を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>早期に事業完了できるように、地域の土地の形状等考慮しながら調査区を決める必要があるため、事業計画作成するにあたり十分な検討を行うことが重要である。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町内各地へのセラピーロードの整備	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	森林セラピー事業	事業番号	1896			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	9	連番	31

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町内各地のセラピーロードの点検及び維持管理。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セラピーロード内の倒木撤去等</li> <li>・各セラピーロード関連施設修繕</li> </ul>

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額				2,448,238円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	各セラピーロード内の倒木撤去等	回	2	2	3	150%
②	各セラピーロード関連施設修繕	回	6	6	9	150%
③						#DIV/0!
実施内容						

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方に安全に利用してもらうためのセラピーロード及び関連施設の維持管理を行った。</li> </ul>						

R4年度（11月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 多くの方に安全に利用してもらえるよう継続的な維持管理が必要。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて引き続きロード内の倒木撤去と関連施設の修繕を行う。</li> </ul>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	良好な景観形成に向けた周知	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	まちづくり事務費	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	③ 環境整備	事業番号	18	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	良好な景観を守るために景観計画を周知し、行動する時には景観に配慮する意識を醸成する
Plan(事業概要・計画)	・智頭町景観計画の周知

R4年度

Do(実行)	R4実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	庁舎内景観計画勉強会	回	0	1	0	#DIV/0!
②	景観計画策定審議会	回	1	1	0	0%
③						#DIV/0!
実施内容		・庁舎内景観計画勉強会は開催できていない ・景観に関する届け出の受理、審査（14件）				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		・教育課と連携して、文化的景観をふまえた景観計画のローリングが必要 ・庁舎内勉強会を開催し、各部局横断的な取り組みを行いたい ・対町民向けのアクションが必要				

R4年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 文化的意識や景観意識の醸成を関係課と連携して実施する必要がある。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
・教育課と連携した庁舎内勉強会の開催 ・景観計画の見直し ・対町民向けのアクション	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	じん芥処理事業	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	じん芥処理事業	事業番号	1120			
総合計画	基本理念	I 森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	20	連番	34

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	不法投棄の解消
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールの実施</li> </ul>

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	392,916円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	不法投棄パトロール	回	随時	随時	2	#VALUE!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄パトロールの実施</li> </ul>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	不法投棄が散見されている。さらなる啓発が必要。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R4年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
不法投棄のさらなる啓発とパトロールの強化が必要と考える。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町内畜産業者の支援	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	畜産業費	事業番号	1145		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	連番	I-1

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	畜産農家の経営安定を図り、畜産事業の進行を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第177回智頭町畜産共進会の開催</li> <li>・雌牛の導入支援</li> <li>・東部地区畜産共進会の出品支援（輸送費の助成）</li> </ul>

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)		R4実績見込額			374,000円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	畜産共進会の開催	回	0	1	1	#DIV/0!
②	雌牛の増頭	頭	1	2	1	100%
③	畜産共進会出品支援	頭	3	5	6	200%
実施内容		・新型コロナの感染状況を鑑み規模を縮小したものの、第177回智頭町畜産共進会を開催することができた。 鳥取県畜産共進会への出品支援を6頭行った。 智頭町鳥取和牛振興総合対策事業費補助金で、町内畜産農家の和牛導入1頭に対して支援を行った。				

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		新型コロナウイルスの影響で一部規模縮小したものの、第177回智頭町畜産共進会が開催できた。 鳥取県畜産共進会への出品支援を6頭行った。 智頭町鳥取和牛振興総合対策事業費補助金で、町内畜産農家の和牛導入1頭に対して支援を行った。				

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 今後は畜産農家の育成・担い手の確保が課題である。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
新型コロナの影響で開催を見合わせていた町畜産共進会を、開催方法を工夫しながら数年ぶりに開催することができた。 令和5年度も引き続き新型コロナの状況を考慮しながら、工夫して開催する。また、町内畜産業の維持・発展を目指し、優良な牛の精液導入や、その販路開拓に向けての取組を進めていく必要がある。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	森林経営管理制度の推進	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	森林経営管理推進事業	事業番号	2082		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	1-2

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	森林経営管理法に基づく、新たな森林管理システムの実施
Plan(事業概要・計画)	森林経営管理法に基づく、新たな森林管理システムの実施

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額			437,800円		
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	意向調査対象森林面積	ha	30.64	31.03	24.43	80%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	森林経営管理法に基づく、新たな森林管理システムの実施					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	計画どおり新たな森林管理システムが実施できている。 課題として、今後地籍調査が終了していない森林を対象に意向調査を実施するにあたり、境界明確化事業についても検討を進めていく必要がある。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	A	評価理由：効率的に新たな森林管理システム実施ができている。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
意向調査から経営管理実施権配分計画作成までの一連の流れの実施ができたため、昨年作成した業務マニュアルを加筆、修正をし、更に効率的に実施ができる体制づくりを行う。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町有林管理	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	町有林造林事業	事業番号	1156			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	連番	1-3	

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町有林の適切な管理
Plan(事業概要・計画)	
町有林の適切な管理 SGEC森林管理認証の継続	

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R4実績額	319,000円			
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	森林管理認証審査回数	回	1	1	1	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容						
町有林の適切な管理 SGEC森林管理認証の継続						

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
持続可能な山づくりを目的とする上で、森林管理認証は林業経営の模範であり、引続き町有林において取得を行う。						

R4年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：森林管理認証森林として適切に町有林を管理している。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
森林管理認証について、町内の林業事業体、新規参入者に普及啓発を行っていく。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	外来魚の駆除	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	外来魚駆除事業	事業番号	2015			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	連番	I-4	

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	外来魚の駆除活動を支援し、生物環境の保全を行う。
Plan(事業概要・計画)	千代川漁業協同組合による外来魚駆除実施の支援を行う。 教育機関（智頭農林高等学校、環境大学等）と連携した環境学習を行う。

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Do(実行)		R4実績額			402,395円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	外来魚の駆除	匹	194	200	268	138%
						#DIV/0!
						#DIV/0!
実施内容		10月から計6回の外来駆除活動を芦津で実施。 この駆除には智頭農林高等学校の生徒も参加し、智頭町の外来魚が与える影響を学びつつ、駆除の手伝いを行った。 またブラントラウトダービーを7月～9月に実施。				

R4年度（年度評価を記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		268匹の駆除を行った。 溪流釣りのエリアにはブラントラウトが少なく、人が立ち入れない芦津国有林エリアが比較的数量が多く、今後中心に駆除する必要がある。				

R4年度（年度評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：情報の発信先の工夫が必要。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
現状の電気ショッカーを用いたブラントラウトの駆除は、駆除区域及び人員が限定的である。 そのため、ブラントラウト釣りダービーを企画し、釣り人にブラントラウトを釣ってもらい、大きさを競うイベントの開催を支援する。また、参加者を増やすため、県外に向けて発信するなど、漁業協同組合のサポートを行う。	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	親元就農者への支援	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	農業振興費	事業番号	1136			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	連番	(新) I -5	

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町内での農業担い手の確保、新規就農者の育成、農地の適正利用
Plan(事業概要・計画)	
<p>本町の担い手として位置づけられている農業経営体の経営者の親族の当該経営体への就農を促進し、地域農業の継続的な発展を図るとともに、当該親元就農者の地域農業の担い手としての定着を図る。</p>	

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)						R4実績額	1,200,000円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)	
①	親元就農者	名	1	1	1	100%	
						#DIV/0!	
						#DIV/0!	
実施内容		親元就農者に対して実施する農業研修に係る経費の支援					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		本町において、農業の担い手確保が重要な課題となっており、就農環境の整備を継続して進めていく。				

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 当該親元就農者の地域農業の担い手としての定着を図ることができている				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)					
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画					
担い手の確保に苦慮している実情を踏まえ、今後も親元就農者に対して実施する農業研修に係る経費の支援を行う。					

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	親元就農者への支援	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	農業振興費	事業番号	1136			
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	連番	(新) I -5	

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町内での農業担い手の確保、新規就農者の育成、農地の適正利用
Plan(事業概要・計画)	
<p>本町の担い手として位置づけられている農業経営体の経営者の親族の当該経営体への就農を促進し、地域農業の継続的な発展を図るとともに、当該親元就農者の地域農業の担い手としての定着を図る。担い手（認定農業者、集落で合意形成された人・農地プランの位置づけられた中心経営体）への農地集積を後押しするため、3年以上の新規集積に対して支援を行う。</p>	

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				1,911,680円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	親元就農促進支援事業補助金	名	1	1	1	100%
②	担い手規模拡大促進事業補助金	名	8	8	8	100%
#DIV/0!						
実施内容	<p>親元就農者に対して実施する農業研修に係る経費の支援 認定農業者等の規模拡大への取組に対する支援</p>					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>地域農業の継続的な発展のため、農業経営体の経営者の親族の当該経営体への就農を支援した。また、認定農業者等の規模拡大への取組に対して支援を行った。</p>					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 農業経営体の経営者の親族の当該経営体への就農を支援、認定農業者等の規模拡大への取組に対して支援ができた				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<p>今後も、地域農業の継続的な発展のため、農業経営体の経営者の親族の当該経営体への就農の支援、認定農業者等の規模拡大への取組に対して支援を行っていく。</p>	

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域の特性を活かした農業生産（農産物加工）の支援→集落営農？	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	地域農業振興プラン支援事業	事業番号	1800		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	連番	I-6

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	集落営農を支援することにより、町内での農業担い手の確保、農地の適正利用を図る
Plan(事業概要・計画)	集落営農を支援することにより、地域農業の維持及び発展を図る。

R4年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R4実績額				1,995,174円	
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	集落営農体制強化支援事業補助金	件	1	1	1	100%
						#DIV/0!
						#DIV/0!
実施内容	集落営農に対する支援を行う。					

R4年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	集落営農を支援することにより、町内での農業担い手の確保、農地の適正利用を図ることができた。					

R4年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	A	評価理由： 集落営農を支援することにより、町内での農業担い手の確保、農地の適正利用を図ることができた。				

R4年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
今後も集落営農を支援することにより、町内での農業担い手の確保、農地の適正利用を図る。	

### 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	農業経営の所得向上		所属	山村再生課	SDG s	
事業(細目)名	農業振興費		事業番号	1136		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	連番	I-7	

R4年度(4月記入)

Goal(目標)	農業経営の所得向上					
Plan(事業概要・計画)	農業者に対し、自然災害による収量減少等の農業者の経営努力だけでは避けられない収入減少を広く補填する農業収入保険への加入促進を図るため、保険料の一部を支援する。					

R4年度(年度末実績を記入)

Do(実行)		R4実績額				47,900円
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	農業収入保険加入者	名	17	17	20	118%
						#DIV/0!
						#DIV/0!
実施内容		農業者に対し、自然災害による収量減少等の農業者の経営努力だけでは避けられない収入減少を広く補填する農業収入保険への加入促進を図るため、保険料の一部を支援する。				

R4年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		農業者に対し、自然災害による収量減少等の農業者の経営努力だけでは避けられない収入減少を広く補填する農業収入保険への加入促進を図るため、保険料の一部を支援することができた。				

R4年度(年度末評価を記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 収入保険の加入者の微増に貢献できた				

R4年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)						
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画						
今後も農業者に対し、農業収入保険への加入促進を図る。						

## 第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	担い手への農地集積支援	所属	山村再生課	SDG s	
事業（細目）名	地域農業振興プラン支援事業	事業番号	1800		
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	連番	I-8

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町内での農業担い手の確保、農地の適正利用
Plan(事業概要・計画)	
<p>担い手（認定農業者、集落で合意形成された人・農地プランの位置づけられた中心経営体）への農地集積を後押しするため、3年以上の新規集積に対して支援を行う。</p>	

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額				300,000円
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績) 対前年比(%)
②	担い手規模拡大促進事業補助金	名	8	8	9 113%
					#DIV/0!
					#DIV/0!
実施内容	<p>3年以上の契約で新規集積（利用権設定）した担い手へ集積圃場の面積に応じて支援を行った。                  （認定農業者2名、人・農地プランの中心経営体7名 計9名 集積面積：88,999㎡）</p>				

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>本補助金の後押しもあり、担い手への集積が進んでいる。                  今後は、農業経営の効率化を図るため、集約化にも注力し、必要に応じて「人・農地プラン」から「地域計画」への移行（新規策定）も推進していく必要がある。</p>					

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 今後は地域計画との関連も視野に入れ、担い手への集積を推進する必要がある。				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>令和4年11月末時点において、中間管理機構を通じた利用権設定件数1件、設定面積1,252㎡を集積・集約化。                  一方で中間管理機構を通じた利用権設定の場合、基盤法の設定では提出を求めない書類が多く、事務処理が煩雑になりがちであるため、今後事務の簡略化を検討する必要がある。</p>	